

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00445 )

事務事業名称	一般廃棄物処理管理事務				款	06	項	01	目	03	事業	001	整理番号	454
現担当課名	ごみ減量対策課			係名	管理係			連絡先電話番号	3723		昨年度整理番号	452		
上位施策No・施策名	10 ごみの減量と資源化の推進								予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成12年度	実行計画事業	目標	03	施策	10	計画事業	02	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )					
令和 2年度担当課名	ごみ減量対策課								事業評価区分	一般				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	家庭廃棄物及び事業系一般廃棄物 一般廃棄物処理業者	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	廃棄物の処理及び清掃に関する法律  杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	廃棄物の分別状態を適正にし、より円滑な廃棄物処理を可能にしていく。 一般廃棄物処理基本計画に定めた目標値の達成を目指す。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	一般廃棄物処理業者許可 ( 新規・更新 ) 件数  収集車両台数 ( 両所の1日平均 )
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	適正な排出処理に向けた基盤づくりを行う。 一般廃棄物処理業者への助言、指導を行う。 「杉並区一般廃棄物処理基本・実施計画」や「ごみ収集作業計画」を策定する。 清掃リサイクル事業の基礎データを収集する。	成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	事業系一般廃棄物搬入量 ( 持込ごみ量 )  指定処理施設 ( 清掃工場等 ) への事業系一般廃棄物総搬入量 ( 速報値 ) 一般廃棄物搬入量  指定処理施設 ( 清掃工場等 ) への廃棄物総搬入量 ( 速報値 )

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 件	106	150	144	116	107	147	92.2	92.3	
活動指標 ( 2 )	2 台	79	79	76	76	79	80	103.9		
成果指標 ( 1 )	3 t	26,162	25,381	26,296	25,465	22,684	25,119	89.1		
成果指標 ( 2 )	4 t	122,917	120,972	124,045	121,372	123,347	119,723	101.6		
事業費	5 千円	2,067	12,857	9,297	3,883	3,583	4,854	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	事業費が前年度より減った理由は、令和元年度は単年度事業として「家庭ごみ排出状況調査委託」、「災害廃棄物処理計画策定委託」を実施したためです。		
( 内 ) 委託費	7 千円	95	11,423	7,962	1,867	1,846	3,216			
職員数	8 人	2.83	2.75	2.85	2.15	2.57	2.15			
上記以外の職員	9 人	0.20	0.10	0.10	0.10	0.25	0.10			
人件費	10 千円	23,846	23,172	24,846	18,744	21,853	17,563			
上記以外の職員	11 千円	618	309	308	308	907	363			
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	26,531	36,338	34,451	22,935	26,343	22,780			
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	250,292	242,253	239,243	197,716	246,196	154,966			
財源	受益者負担分	14 千円	1,075	1,516	1,450	1,176	1,085			1,486
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0			0
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0			0
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	1,075	1,516	1,450	1,176	1,085	1,486		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	25,456	34,822	33,001	21,759	25,258	21,294			
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	4.1	4.2	4.2	5.1	4.1	6.5			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 2年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 454

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	廃棄物情報管理システム維持管理			1,903
	「ゼロ・ウェイストすぎなみ」調査・委託			498
	全国都市清掃会議負担金等の支出			388
	「杉並区災害廃棄物処理計画」冊子作成	200	部	363
	その他 ( 複合機保守点検委託ほか )			431
事業実績	<p>ワンウェイプラスチックの使用削減に向けたモニタリング調査 ( 全207人 ) を実施し、その結果を踏まえ、新たな環境基本計画等に基づく今後の取組に生かせるよう、区民に自発的な環境配慮行動を促すための有効策について検討しました。また、災害廃棄物の適正な処理と早期復旧のため「杉並区災害廃棄物処理計画」を策定しました。そのほか、一般廃棄物処理業者の事務所や事業現場への立入検査を行い、法令等で定めた基準に従って適正に廃棄物を処理しているかの確認や助言、指導を実施しました。また、一般廃棄物処理業の許可事務において、行政指導を実施しました。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>平成12年度から清掃事業が都から区へ移管されました。一般廃棄物処理業及び浄化槽清掃業の許可事務は、平成17年度までは区への円滑移行を図るため、経過的に東京二十三区清掃協議会で事務を行い、平成18年度から平成24年度まで区が行いました。平成25年度からは東京二十三区清掃協議会による共同処理となりました。</p> <p>大規模地震等、区内で発生した災害廃棄物を迅速・適正に処理することにより、早期の復旧・復興を実現するために「杉並区災害廃棄物処理計画」を令和2年12月に策定しました。</p>
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による外食の機会の減少とテイクアウトの増加は、生ごみや容器包装プラスチックの増加につながり、家庭ごみの排出は大幅に増加し、事業系ごみは激減しました。こうした状況の実態を把握し、今後のごみ量予測の参考とするため、令和3年度に家庭ごみ排出状況調査の実施・検証を行い、一般廃棄物処理基本計画 ( 令和4~12年度 ) の策定基礎資料とし活用します。また、プラスチックごみの排出抑制や再資源化の推進については、国等の動向が加速していくことから、区においても一層の取組が必要となることが予測されます。</p> <p>令和2年度に「杉並区災害廃棄物処理計画」と一緒に策定した災害時の行動マニュアルは、清掃事務所等、関係機関と連携しながら、より実効性があるものとして精度を高めていきます。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>家庭系の可燃ごみが増加し、事業系一般廃棄物搬入量 ( 持込ごみ量 ) は前年度に比べて減少するなど、ごみ量及び一般廃棄物処理業者は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けました。そのため、業者への許可件数は微減となる一方、区の車両台数は増加となりました。</p> <p>適正な排出処理を行っていくために、今後も一般廃棄物処理業者への助言・指導を適切に行うとともに、更なるごみの減量に向けて、ごみ・資源の排出抑制の必要性を区民及び事業者広く周知し、行動につなげていく必要があります。</p>
評価と課題	<p>今後、約10年を見据えた一般廃棄物処理基本計画の策定を予定していますが、現計画の指標 ( 区民一人1日当たりのごみ排出量 ) に関しては、新型コロナウイルス感染症等の影響により停滞化している現状です。今後は、レジ袋有料義務化の実施や製品プラスチックの削減・再資源化に向けた国等の動向にも留意したうえで、食品ロスの削減やワンウェイプラスチックの削減を重点に、ごみ・資源の発生抑制にも取り組む必要があります。</p>

## 令和 4年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>今年度、新たに策定する一般廃棄物処理基本計画において、これまでの「ごみの減量」に加えて「ごみ・資源の排出抑制」の視点も取り入れた目標を設定し、特にワンウェイプラスチックや食品ロスの削減に重点的に取り組んでいきます。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響も反映した家庭ごみ排出状況調査の結果やプラスチックごみ関連の国等の動向を今後の施策検討に積極的に取り入れていきます。</p> <p>一般廃棄物処理業等許可事務は東京二十三区清掃協議会による23区共同処理となっていますが、区としては、これまで同様に一般廃棄物処理業者への立入検査や行政指導等を徹底することにより、事業系廃棄物処理の適正分別・排出を推進していきます。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00446 )

事務事業名称	ごみの減量と資源化の推進					款 06 項 01 目 03 事業 002	整理番号	455	
現担当課名	ごみ減量対策課		係名	事業計画係		連絡先電話番号	3725	昨年度整理番号	453
上位施策No・施策名	10 ごみの減量と資源化の推進					予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成13年度	実行計画事業	目標 03	施策 10	計画事業 01	02	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )		
令和 2年度担当課名	ごみ減量対策課					事業評価区分	一般		

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区民・事業者・産業団体等	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 循環型社会形成推進基本法
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	啓発活動を通して、区民のごみ減量への意識を高めつつ、ごみの発生抑制や再利用、再生利用の手法により、ごみ減量を実現する。 区民・事業者・行政の協働により、普及啓発、家具のリユースや集団回収への取組を進め、ごみの発生抑制とリサイクルの意識を高める。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	啓発物 ( パンフレット、冊子 ) 延べ配布部数 平成28年度実績分より、チラシ枚数は除外した 集団回収実施団体数
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	ごみの減量を推進するため、「ごみ・資源の収集カレンダー」をはじめとする各種啓発物の発行や小学校等への環境学習により、啓発活動を行う。 資源の集団回収団体に対し報奨金・支援物品を支給する。 資源化を推進するため、小型家電15品目を拠点回収し、希少金属を再資源化業者に引き渡す。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	区収集ごみ量 ( 対令和元年度比 ) 令和2年度区収集ごみ量 ÷ 令和元年度区収集ごみ量 資源回収率 資源回収量 ÷ ( 区収集ごみ量 + 資源回収量 )

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 枚	516,400	516,700	516,700	513,700	512,950	509,500	99.9	90.4	
活動指標 ( 2 )	2 団体	492	523	494	541	468	559	86.5		
成果指標 ( 1 )	3 %	100.1	98	101.1	98	103.0	98	105.1		
成果指標 ( 2 )	4 %	27.5	31.5	27.1	32.0	27.7	33.0	86.6		
事業費	5 千円	76,931	88,532	79,563	110,635	100,038	113,018	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	事業費が増加した理由は、金属分を含む不燃ごみ・粗大ごみの資源化について、業者への売却から金属価値の下落により有償による引き取りに変わったためです。		
( 内 ) 委託費	7 千円	19,766	24,343	22,583	51,557	46,234	54,150			
職員数	常勤職員数 ( 再任用含 )	8 人	4.22	4.10	4.49	4.70	5.14			6.10
	上記以外の職員	9 人	1.20	1.20	1.30	1.30	1.65			1.55
人件費	常勤職員分 ( 再任用含 )	10 千円	35,558	34,547	39,144	40,975	43,705			49,352
	上記以外の職員	11 千円	3,707	3,707	4,004	4,004	5,986			5,623
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	116,196	126,786	122,711	155,614	149,729	167,993			
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	225	245	237	303	292	330			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0			0
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0			0
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0			0
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	116,196	126,786	122,711	155,614	149,729	167,993			
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 455

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	「ごみ・資源の収集カレンダー」の発行	420,000	部	11,297
	集団回収団体報奨金の支払	468	団体	31,567
	金属分を含む不燃ごみ・粗大ごみの資源化委託			22,436
	その他（集団回収支援消耗品の購入ほか）			34,738
事業実績	<p>新型コロナウイルス感染症対策のため使用が増えたマスクが古紙として排出されるなど誤まった分別がされていたため、「ごみ・資源の収集カレンダー」に適切な処分方法を追記し、区民への周知を図りました。食品ロス削減に取り組む、「食べのこし0（ゼロ）応援店」事業では、登録店舗が392店舗となり、登録店のシェフが考案した「食材をおいしく使いきるレシピ」を清掃情報紙や区ホームページ等で紹介するなど、事業の周知・啓発を図りました。また、フードシェアリングアプリの導入には53店舗の登録があり、事業系食品ロス削減に向けた取組が進んでいます。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>清掃情報紙「ごみバックン」や全戸配布している「ごみ・資源の収集カレンダー」等を活用し、ごみの減量や資源化の推進を周知、啓発しています。「フードドライブ」は、常設受付窓口が11か所になり、回収個数も増加しています。また、事業系食品ロスの削減に取り組む飲食店等を登録する「食べのこし0（ゼロ）応援店」は、登録店舗が令和元年度から117店増加し392店になり、事業者と連携した取り組みが広がっています。</p> <p>全戸配布している「ごみ・資源の収集カレンダー」、「食べのこし0（ゼロ）応援店」の紹介や登録店のシェフが考案した「食材をおいしく使いきるレシピ」、プラスチックごみに関する特集などを掲載した「ごみバックン」等の啓発物は、区民から好評を得ています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>「ごみ・資源の収集カレンダー」は、カレンダーと分別方法の周知部分を分離し、利便性向上の視点から、カレンダー部分のスリム化、分別方法の周知部分の充実を図るなど、掲載内容の改善を検討します。</p> <p>食品ロス削減は、更なる削減を目指し、フードシェアリングサービスを併せて行う「食べのこし0（ゼロ）応援店」を拡充し、事業者・区民双方にメリットのある取組を推進するため、事業者と協働して取り組みます。</p> <p>世界的にも問題となっているプラスチックの削減について、特にワンウェイプラスチックの発生抑制に向け、清掃情報紙等で周知・啓発するとともに区全体で取り組んでいく必要があります。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>近年の人口増に加え、令和2年度はコロナ禍によるテレワークの定着など自宅で過ごす時間の増加等を要因として、区収集ごみ量は増加しました。一方、資源は、デジタル化による新聞・雑誌の減少、ペットボトル流通によるびん・缶の減少により減少傾向にありましたが、令和2年度はコロナ禍の影響で各資源の回収量は令和元年度から増加しました。しかし、ごみ量全体の増加もあり、資源回収率は目標値に達しませんでした。</p> <p>また、集団回収実施団体は、資源の減少傾向のほか、古紙価格の下落に伴う回収業者の撤退、コロナ禍における収集活動の自粛などにより減少しています。</p>
評価と課題	<p>ごみの減量と資源化の推進に向けて、区民・事業者・区がそれぞれの役割と責務のもと、連携して取り組む必要があります。特にワンウェイプラスチックを中心としたプラスチックごみの発生抑制に向けた取組は、区全体で重点的に取り組むとともに、モノを長く使う生活習慣を醸成することによって、ごみと資源そのものの発生を抑制し、減量につなげていきます。</p> <p>集団回収は、市況や社会環境等の変化により、実施団体数・報奨金支給額ともに減少しました。一部回収業者の撤退もありましたが、安定的な資源回収継続に向け、新たな回収業者の確保、また一時的に行政回収に切り替えるなどの措置を行いました。今後は、回収業者や杉並リサイクル事業協同組合との連携、団体に対する支援物品の充実など区民が参加しやすい仕組みづくりを進めていきます。</p>

## 令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>食品ロス削減に向けて、「食べのこし0（ゼロ）応援店」の登録とフードシェアリングアプリの導入の2つを併せて実施する店舗を拡充していくことにより、区民、事業者双方におけるごみの減量に積極的に取り組むなど、事業系食品ロス削減を強化します。</p> <p>金属分を含む不燃ごみ、粗大ごみは、近年の市況の変化により金属価値が下落しているため、令和2年度から有償により再資源化しています。金属価値の下落傾向は今後も続くことが見込まれますが、限りある資源の有効活用の観点から、有償による再資源化を継続して実施します。</p> <p>集団回収は、近年、回収量が減少している中、令和2年度はコロナ禍において、活動を控える団体があったため、令和元年度よりさらに回収量が減少しました。集団回収は、区民のリサイクルに対する意識を高め、良質な資源を回収できる取組であるため、現在活動している団体が継続して活動できるよう支援を強化します。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00447 )

事務事業名称	ごみ・し尿の収集・運搬				款	06	項	01	目	03	事業	003	整理番号	456
現担当課名	ごみ減量対策課			係名	事業計画係			連絡先電話番号	3725		昨年度整理番号	454		
上位施策No・施策名	10 ごみの減量と資源化の推進								予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成12年度	実行計画事業	目標	03	施策	10	計画事業	02						
令和 2年度担当課名	ごみ減量対策課								事業評価区分	一般				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区内一般家庭事業者 ( 排出日量50kg未満 )	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	集積所等に分別・排出されたごみを、適正かつ効率的に収集・運搬する。 区民が利用しやすいよう、収集サービスの向上を図る。 。収集した粗大ごみ・不燃ごみを中継車に積み替えて運搬車両台数を減らし、運搬コストを削減する。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	ごみ ( 可燃、不燃、粗大 ) の収集量 粗大ごみの収集点数
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	区民等が分別し排出した可燃ごみは杉並清掃工場等へ、不燃ごみは中継所に搬入する。 粗大ごみは、受付、収集・運搬を委託により実施する。 中継所に搬入された不燃ごみ・粗大ごみは、金属やその他ごみ等に選別した後に中継車に積み替え、適正処理施設へ搬出する。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	1t 当たりのごみ・し尿収集運搬コスト ごみ・し尿収集運搬コスト ( 事業費 ) ÷ 区収集ごみ量

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 t	96,756	95,591	97,749	95,907	100,664	94,604	105.0	95.3	
活動指標 ( 2 )	2 点	494,811	500,000	498,333	500,000	520,983	500,000	104.2		
成果指標 ( 1 )	3 円	15,124	17,119	15,808	17,890	16,247	18,572	90.8		
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	1,463,349	1,636,405	1,545,181	1,715,257	1,635,431	1,756,947	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
( 内 ) 委託費	7 千円	1,417,411	1,584,286	1,501,326	1,676,972	1,597,302	1,718,872			
職員数	常勤職員数 ( 再任用含 )	8 人	167.17	148.46	158.27	133.46	141.87	125.46		
	上記以外の職員	9 人	0.70	0.30	0.30	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 ( 再任用含 )	10 千円	1,375,122	1,205,016	1,325,528	1,114,974	1,162,569	1,021,849		
	上記以外の職員	11 千円	2,162	927	924	0	0	0		
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	2,840,633	2,842,348	2,871,633	2,830,231	2,798,000	2,778,796			
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	29,359	29,734	29,378	29,510	27,795	29,373			
財源	受益者負担分	14 千円	430,154	424,994	403,656	428,185	398,459	448,795		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	430,154	424,994	403,656	428,185	398,459	448,795		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	2,410,479	2,417,354	2,467,977	2,402,046	2,399,541	2,330,001			
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	15.1	15.0	14.1	15.1	14.2	16.2			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 2年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 456

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	収集・運搬車両借上 ( 可燃・不燃 )			895,251
	粗大ごみの収集・運搬委託			337,306
	粗大ごみの中継車両借上	2,429	台	107,203
	粗大ごみ・不燃ごみ中継業務委託			140,371
	その他 ( 賃借料・委託料・消耗品購入ほか )			155,300
事業実績	<p>杉並清掃工場の機械メンテナンスのため同工場内にある2つの焼却炉が同時に停止する期間がありました。これに伴い、令和3年2月下旬から3月中旬にかけて一部搬入先の変更をしましたが、大きなトラブルもなく、年間を通して安定した作業を行うことができました。</p> <p>小型ダンプ車で収集している粗大ごみを粗大ごみ中継所で中型プレス車に積み替えて運搬することにより、輸送効率を上げ、環境への負荷を軽減しています。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>可燃ごみ量 平成12年度 108,401 t 令和2年度 93,836 t 対平成12年度比 約13%減                  不燃ごみ量 平成12年度 25,288 t 令和2年度 3,055 t 対平成12年度比 約88%減                  粗大ごみ量 平成12年度 4,919 t 令和2年度 3,773 t 対平成12年度比 約23%減                  総 計 平成12年度 138,608 t 令和2年度 100,664 t 対平成12年度比 約27%減</p> <p>ごみの収集漏れ等の問い合わせはありますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、感謝や励ましの声が多数寄せられています。粗大ごみは、申請件数が増加の一方、受付センターがコロナ禍により受付業務を縮小したことから、受付が停滞し、待機期間が長期化しました。</p>
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	<p>可燃ごみ量は、平成29年度から増加しており、人口増及びコロナ禍の影響が要因の一つになっていると考えられます。今後、コロナ禍後のごみの組成を考慮したうえで、ごみの発生抑制 ( リデュース ) に重点を置き、ごみの減量、適正排出に向けた啓発等、社会情勢に沿った的確な取組を推進します。</p> <p>また、集積所については、近隣関係を起因とした分散要望や狭小路地地区へのきめ細かなサービスを提供するため、分散化が進み、年々集積所の数が増加しています。集積所の増加によって収集に支障が生じることのないように、より効率的な収集・運搬体制の構築が必要です。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>令和2年度のごみ ( 可燃・不燃・粗大 ) の収集量は、コロナ禍による自宅待機や飲食店の営業時間短縮及び休業、テレワークの定着等により、令和元年度に比べてさらに増える結果となりました。今後の事業展開においては、収集運搬業務の更なる効率化と着実な実施を図るとともに、ごみ・資源全体の量の減に向けて、環境学習や出前講座などを通じた分別意識の向上やワンウェイプラスチックを中心とするごみ・資源の排出抑制、モノを長く使う生活習慣の醸成を促すなど、区民一人ひとりの意識改革に向けた取組が必要です。</p> <p>粗大ごみは、コロナ禍で在宅時間が長くなり、自宅を掃除する人の増加を要因の一つとして、令和元年度よりも収集点数が大幅に増加しました。</p>
評価と課題	<p>令和2年度の可燃ごみ量は、令和元年度と比較して約2,600 t 増加しました。こうした状況においても、区民の生活衛生環境を維持するため、新型コロナウイルス感染症に留意しながら、収集・運搬ルートの見直しや相互応援を実施するなど効率的な作業に努めました。</p> <p>粗大ごみ受付業務委託は、受付センターがコロナ禍による業務縮小のため受付の停滞が生じたことを踏まえ、安定的な受付業務が実施できるよう工夫していきます。</p> <p>コロナを予防しながら日常生活を送る「withコロナ」において、ごみ排出状況の変化が予想されます。区民・事業者が当事者意識を持ち、適正分別やプラスチックの使用抑制に取り組み、モノを長く使う生活習慣を醸成できるよう周知・啓発を工夫し、ごみ減量に向けた取組を強化します。</p>

## 令和 4年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>今後、新型コロナウイルス感染症が終息してもテレワーク等の影響により一定量ごみの増加が見込まれます。加えて、近年分散化等によって増加し続ける集積所数に対応するために、多方面から検証を行い、効率的な収集体制を確立していきます。そのため、過去の実績や社会情勢等の様々な観点から適正なごみ量の推計を行い、人員体制や車両台数を見直し、収集コストを抑制していきます。</p> <p>また、粗大ごみの待機日数の短縮に向けて、受付、収集体制の改善に取り組んでいきます。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00449 )

事務事業名称	資源の回収	款	06	項	01	目	03	事業	004	整理番号	457	
現担当課名	ごみ減量対策課	係名	事業計画係				連絡先 電話番号	3725	昨年度 整理番号	455		
上位施策No・施策名	10 ごみの減量と資源化の推進						予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成11年度											
令和 2年度 担当課名	ごみ減量対策課						事業評価区分	一般				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	資源の排出者	根拠 法令 等	( 1 )  ( 2 )	廃棄物の処理及び清掃に関する法律  杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	再商品化が可能な古紙、びん、缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装を分別収集することにより、ごみの減量と貴重な資源の回収を推進する。	活動指標	指標名 ( 1 )  指標説明  指標名 ( 2 )	資源回収量 (行政回収分)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	ごみ・資源の集積所に排出された資源 (古紙・びん・缶・ペットボトル・プラスチック製容器包装) を回収し、資源化中間処理施設に搬入する。資源化中間処理施設で選別・圧縮・梱包等した後、再商品化工場に引き渡し、再商品化する。資源の持ち去り対策として、早朝回収やパトロールを実施する。	成果指標	指標名 ( 1 )  指標説明  指標名 ( 2 )  指標説明	資源回収率 (本事務事業では資源回収量に小型家電・金属の回収量は含みません。) 資源回収量 (行政回収分) ÷ 【区収集ごみ量 + 資源回収量 (行政回収分)】 区民一人1日当たりのごみ排出量  (区が収集している年間の可燃ごみ量 + 不燃ごみ量 + 粗大ごみ量) ÷ 人口 ÷ 365日

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 t	29,412	35,166	29,350	37,526	32,402	38,641	86.3	98.3	
活動指標 ( 2 )	2									
成果指標 ( 1 )	3 %	23.3	26.9	23.1	28.2	24.4	29.0	86.5		
成果指標 ( 2 )	4 g	466	457	466	454	479	450	105.5		
事業費	5 千円	2,291,249	2,411,207	2,379,694	2,510,502	2,468,533	2,495,114	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	2,277,397	2,395,966	2,366,113	2,493,637	2,453,975	2,479,383			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	2.77	3.05	3.88	4.05	4.20	4.05		
	上記以外の職員	9 人	0.20	0.20	0.00	0.50	0.50	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	23,340	24,502	32,559	35,308	35,713	34,437		
	上記以外の職員	11 千円	618	618	0	1,540	1,814	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	2,315,207	2,436,327	2,412,253	2,547,350	2,506,060	2,529,551			
単位当たりコスト (12-6) ÷ 1)	13 円	78,716	69,281	82,189	67,882	77,343	65,463			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	2,315,207	2,436,327	2,412,253	2,547,350	2,506,060	2,529,551			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 2年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 457

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	古紙・びん・缶の回収業務委託			817,902
	ペットボトルの回収業務委託			384,235
	プラスチック製容器包装回収業務委託			584,349
	資源化中間処理委託			667,468
	その他 ( 委託料・消耗品購入ほか )			14,579
事業実績	古紙、びん、缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装を回収し、資源化中間処理施設へ搬入します。当該施設で選別・圧縮等を行った後、再商品化工場へ搬入して資源化を図っています。また、資源の持ち去り対策として、古紙、びん、缶の早朝回収と持ち去りパトロールを実施しています。			

## 令和 2年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	びん、缶、古紙、ペットボトル、プラスチック製容器包装は、開始時期は異なりますが、集積所回収を実施しています。また、資源の持ち去り対策として、古紙、びん、缶の早朝回収を実施しています。資源回収量は、年々微減しており、特に新聞と雑誌のデジタル化によって、ペーパーレスが進んでいる古紙は、回収量が大きく減っています。しかし、令和2年度はコロナ禍における自宅待機や飲食店の営業時間短縮及び休業、テレワークの定着等により回収量が大幅に増えました。依然として、回収漏れ等の問い合わせが寄せられています。
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	近年、新聞、雑誌のデジタル化やペットボトルへの転換によってびん、缶の生産量も減少しているため、各資源の回収量は減少しています。しかし、令和2年度はコロナ禍における自宅待機や飲食店の営業時間短縮及び休業、テレワークの定着等により資源回収量が大幅に増えました。今後も資源回収量は、コロナ禍によるライフスタイルの変更等の影響を受け、これまでの予測よりも増加することが見込まれます。 今後予定されている「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の施行に伴い、製品プラスチックを含むプラスチック回収が課題になることから、それに向けた検討・準備を進めます。
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	資源は、デジタル化による新聞・雑誌の減少、ペットボトル流通によるびん・缶の減少により減少傾向にありますが、令和2年度はコロナ禍の影響で各資源の回収量は令和元年度から増加しました。しかし、ごみ量全体の増もあり、資源回収率は目標値に達しませんでした。 近年の人口増に加え、新型コロナウイルス感染症によるテレワークの定着など自宅で過ごす時間の増加等を要因として、区収集ごみ量は増加したため、区民一人1日当たりのごみ排出量は、令和元年度より増える結果となりました。成果目標の達成に向けた今後の事業展開において、全ての年代における意識の向上とモノを長く使う生活習慣を醸成することによるごみ・資源の発生抑制に向けた取組が必要です。
評価と課題	コロナ禍における自宅待機や飲食店の営業時間短縮及び休業、テレワークの定着等により行政回収は大幅に増えましたが、収集・運搬の工夫により、収集遅延など区民生活に影響を与えることなく回収業務を実施しました。一方、集団回収は、コロナ禍で活動を控えた団体があったため、令和元年度の回収量より減少しました。 今後予定されている「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の施行に伴い、製品プラスチックを含むプラスチック回収が課題になります。これに伴う、中間処理施設の受け入れや区民の排出方法が変わるなど課題があるため、その解決に向けた検討・準備を進めていく必要があります。

## 令和 4年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	資源回収量は、コロナ禍によるライフスタイルの変更等の影響を受け、引き続き高止まりすることが見込まれ、回収量に応じて変動する中間処理に係る経費は、令和3年度と同じ水準になることが予想されます。また、集団回収について、コロナ禍で活動を控えた団体があり、新型コロナウイルス感染症の終息時期によっては、今後も停滞する可能性があります。その場合は、行政回収に切り替わるため、経費増につながることも予想されます。 また、今後「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の施行に伴い、製品プラスチックを含むプラスチック回収・資源化が課題となります。製品プラスチックを含めた回収を行う場合、回収や中間処理に係る経費の増が予想されます。	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00450 )

事務事業名称	ごみ・資源の排出の適正管理				款 06 項 01 目 03 事業 005	整理番号	458	
現担当課名	杉並清掃事務所		係名	管理係	連絡先電話番号	3392-7281	昨年度整理番号	456
上位施策No・施策名	10 ごみの減量と資源化の推進				予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成12年度	実行計画事業	目標 03	施策 10	計画事業 03	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )		
令和 2年度担当課名	杉並清掃事務所				事業評価区分	一般		

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区民及び区内事業者並びに区内建築物所有者及び管理者	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	廃棄物の処理及び清掃に関する法律  杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	ごみの分別の徹底を働きかけ、資源化を促進するとともにカラス等による集積所の被害を防止するために区民等が取り組みやすく、より低コストで効果的な方策で、集積所の衛生状態やまちなみを保持する。 区の収集を利用する事業主に対し、適正なごみ処理券の貼付を働きかけることで、負担の公平性を確保する。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	直接又は文書による排出指導件数  折り畳み式防鳥ボックスの配布数
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	事業活動に伴って出たごみ・資源を区の収集に出す事業者に対し、適正な事業系有料ごみ処理券を貼付するよう調査・指導する。 ごみ排出の適正化指導、環境学習の推進、集積所のカラス等による被害の防止対策、大規模建築物の所有者への排出指導などを行う。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	カラス被害のある集積所割合  カラス被害のある集積所数 ÷ 全集積所数

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 件	1,350	1,300	1,116	1,300	412	1,200	31.7	93.8	
活動指標 ( 2 )	2 個	1,240	1,200	1,697	1,200	1,308	1,200	109.0		
成果指標 ( 1 )	3 %	1.8	0	1.7	0	0.0	0	0.0		
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	82,346	74,510	70,347	78,793	73,907	72,073	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	< 成果指標 ( 1 ) > 東京都からの調査依頼内容が変わり、カラス被害件数をカウントする必要がなくなったことに加え、令和 2 年度以降は新型コロナウイルス感染予防とごみ排出量増加に伴う対応もあり調査を実施していないことから、カラス被害のある集積所割合の成果指標は削除します。		
( 内 ) 委託費	7 千円	27,676	28,771	26,518	30,220	27,846	27,277			
職員数	8 人	40.31	42.00	43.60	50.70	53.96	48.60			
	9 人	1.10	1.00	1.10	0.60	0.52	1.35			
人件費	10 千円	339,652	347,904	370,821	433,563	451,273	407,494			
	11 千円	3,398	3,089	3,388	1,848	1,887	4,898			
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	425,396	425,503	444,556	514,204	527,067	484,465			
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	315,108	327,310	398,348	395,542	1,279,289	403,721			
財源	受益者負担分	14 千円	34,264	58,135	56,850	58,321	55,037			35,592
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0			0
	都からの補助金等	16 千円	198	262	177	246	163			200
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	34,462	58,397	57,027	58,567	55,200	35,792		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	390,934	367,106	387,529	455,637	471,867	448,673			
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	8.1	13.7	12.8	11.3	10.4	7.3			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 2年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 458

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	有料ごみ処理券印刷実績	1,906,800	枚	10,457
	動物死体処理委託	490	頭	1,509
	カラスネット(999枚)、折り畳み式防鳥ボックス(1,308基)の配布			29,239
	ごみ処理券徴収委託	299	店	18,093
	その他 ( 大規模建築物指導、ふれあい指導用消耗品ほか )			14,609
事業実績	<p>ごみ散乱被害を防止し、集積所の環境美化に寄与するため、カラスネット・折り畳み式防鳥ボックスを配布しました。例年、小学校等30件程度で環境学習を実施していますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、4件の実施に留まりました。また、7か国語対応のスマートフォン用アプリ「なみすけのごみ出し達人」や、多言語に対応した排出指導ステッカーにより、外国人も含めて排出方法の理解の促進を図りました。このほか、有料ごみ処理券未貼付事業者への排出指導を随時実施し、ごみ・資源の適正な排出について区民等に啓発を行いました。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>近年は、生活形態の多様化や地域社会のコミュニケーションの希薄化から、集積所の分散化が進む傾向にあります。カラス対策は、事業開始当初は夜間収集による対策を実施しましたが、近年は排出マナーの向上、カラスネットや折り畳み式防鳥ボックスの配布などの対策を推進したことにより被害は以前より減少しています。このほか、イラストを活用した集積所看板への交換、「なみすけのごみ出し達人 ( マスター ) 」アプリの7か国語対応など外国人にも分かりやすい啓発を実施しています。戸別収集への要望やルールを守らない人への指導を求める意見が依然として多く寄せられています。一方、単身高齢者等を対象とした「ふれあい収集」は、安否確認など福祉的な側面から評価されています。</p>
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	<p>環境への関心の高まりや単身世帯・外国人住民の増加から、ごみ・資源の分け方・出し方や集積所の管理、カラス被害に対する相談が増えることが予想されます。また、高齢者世帯の増加から「ふれあい収集」へのニーズが高まります。今後も生活形態の多様化によるごみ・資源集積所の分散化が進むことが予想されるため、収集作業の更なる効率化が求められます。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>カラスネット・折り畳み式防鳥ボックスを要望に応じて必要箇所 ( 999枚、1,308基 ) に配布してごみ散乱被害を防止したことで、カラス被害が減少しました。また、ごみ・資源の適正な分別の周知を徹底するため、有料シール未貼付事業者への排出指導を計画に基づいて実施し、ごみ処理券の貼付を働きかけることで負担の公平性を確保しました。ただし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、開袋調査や対面指導を制限したことから、例年に比べ指導件数は減少しました。</p>
評価と課題	<p>ごみ・資源の普及啓発事業を小学校等で実施し、ごみ減量への理解と協力を促しました。また、未分別のごみの調査や事業系ごみの有料ごみ処理券の未貼付への指導、不法投棄防止のための取組を実施するとともに、希望する集積所へカラスネット・折り畳み式防鳥ボックスを配布することによりカラス被害は以前より減少し、集積所の衛生状態やまちの美観の保持に寄与しました。今後も取組の強化を図り、まちの美観の保持に努めていきます。なお、普及啓発、調査指導については、新型コロナウイルス感染症予防のため例年どおりには実施できませんでした。単身高齢者等を対象にした「ふれあい収集」については、ごみが出ていない場合に声かけをするなど安否確認も行っており、今後も福祉部門と連携し実施していきます。</p>

## 令和 4年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>ごみの分別と資源化を周知徹底するため、未分別排出物が出されている集積所に対する調査を実施し、必要に応じて区民や事業者へのごみ・資源の排出指導を継続します。また、他区市町村からの転入者や外国人住民及び民泊利用者などへアプリやごみ・資源広報紙等を活用し、ごみの排出方法の周知を行います。事業系ごみの有料処理券の貼付率の向上を図るため、体制の整備と指導の強化を図っていきます。「ふれあい収集」時には、ごみが出ていない場合に声かけをするなどして、特に夏場の熱中症対策の一環として、安否確認の強化を行うなど福祉部門と連携した区民サービスの向上に努めていきます。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00453 )

事務事業名称	清掃車の運行及び維持管理			款	06	項	01	目	04	事業	001	整理番号	461
現担当課名	杉並清掃事務所		係名	管理係			連絡先電話番号	3392-7281		昨年度整理番号	459		
上位施策No・施策名	10 ごみの減量と資源化の推進							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成12年度												
令和 2年度担当課名	杉並清掃事務所							事業評価区分	施設維持管理				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区保有清掃車両（ごみ収集小型プレス車、軽ダンプ車、連絡車）56台	根拠法令等 (1) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 (2) 道路運送車両法
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	加害事故「0」の実現 前年件数の半減を目標とし加害事故を根絶させる。 作業計画に基づいた直営清掃車両の搬入回数 計画数内の搬入を目標に効率的な運行を目指す。	活動指標 指標名(1) 交通安全講習会等の開催回数 指標説明 指標名(2) 直営清掃車両の年間延べ走行距離数 指標説明 小型プレス車及び軽ダンプ車の合算走行距離数
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	車両を安全・適切に運行するための整備を行う。 安全運転、安全作業への意識を高める。 各種の講習会を実施し、安全運転技術の向上を図る。	成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)	
活動指標(1)	1 回	22	24	16	18	12	15	66.7	90.3	
活動指標(2)	2 km	577,244	600,000	603,149	600,000	561,880	570,000	93.6		
成果指標(1)	3									
成果指標(2)	4									
事業費	5 千円	24,513	28,017	21,514	22,030	19,903	22,466	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	活動指標の内、交通安全講習会等は新型コロナウイルスの影響により開催回数が減少しています。 また、直営清掃車両の年間延べ走行距離数についても、配車計画台数の1台減、新型コロナウイルスによるふれあい収集事業の一時中止等を受け、走行距離数が減少しています。		
(内) 委託費	7 千円	3,185	148	114	155	112	144			
職員数	8 人	26.11	24.00	26.36	22.00	0.00	0.00			
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
人件費	10 千円	220,003	202,224	229,806	187,576	0	0			
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0			
総事業費 (5+10+11)	12 千円	244,516	230,241	251,320	209,606	19,903	22,466			
単位当たりコスト (12-6)÷1	13 円	11,114,364	9,593,375	15,707,500	11,644,778	1,658,583	1,497,733			
財源	受益者負担分	14 千円	3,060	117	483	0	0			0
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0			0
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0			0
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	3,060	117	483	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	241,456	230,124	250,837	209,606	19,903	22,466			
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	1.3	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（ 2 ）

## 令和 2年度 事業実施状況（ D o ）

整理番号 461

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	自動車用燃料		56	台
車両点検整備		56	台	7,514
維持管理経費（車両消耗品、保険料・公課費等）		56	台	995
	その他（ ）			
事業実績	車両点検整備等の実施 3か月点検22台 6か月点検58台 12か月点検25台 車検前点検24台 架装点検（庁有車含む）147台 修理・調整等177台 各種研修・講習会の実施 交通安全講習会1回 安全運転特別講習会1回 運転実技講習8回 整備研修2回			

## 令和 2年度 評価と課題（ C h e c k ）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	令和2年度の事故・車両故障件数は例年並みですが、比較的高額な修理費用を伴う自損事故が発生していることから、各種研修及び講習を通じて安全確認の徹底、安全運転への意識高揚を推進していきます。また、計画的な車両整備や故障対応等を行い、適正車両による無事故作業に努めていきます。 区保有車両については、引き続きコスト及び今後の清掃事業の方向性を考慮して、保有台数や管理方法など効率的な運用の検討を行っていきます。

## 令和 4年度の方針（ A c t i o n ）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00454 )

事務事業名称	杉並清掃事務所の維持管理			款	06	項	01	目	04	事業	002	整理番号	462
現担当課名	杉並清掃事務所		係名	管理係			連絡先電話番号	3392-7281		昨年度整理番号	460		
上位施策No・施策名	10 ごみの減量と資源化の推進							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成12年度												
令和 2年度担当課名	杉並清掃事務所							事業評価区分	施設維持管理				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	12,036.76㎡ (本所 - 784.70㎡、下井草分室 - 602.96㎡、旧杉並中継所 - 6,311.73㎡、方南支所1875.64㎡、高円寺車庫2461.73㎡)	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	杉並区公有財産管理規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 建物や設備等を適正に管理保全し、安全で機能的な執務環境を確保する。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	電気使用量 杉並清掃事務所、分室、車庫、方南支所、旧中継所の電気使用量合計 施設等修繕契約件数	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段) 杉並清掃事務所、下井草分室、方南支所、高円寺車庫及び旧杉並中継所の庁舎等の維持管理と運営を行う。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	杉並清掃事務所、分室、車庫、方南支所、旧中継所に係る施設及び設備機器修繕契約件数	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度		
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)		
活動指標 ( 1 )	1	kwh	713,706	710,000	678,272	695,800	653,223	682,000	93.9	93.1	
活動指標 ( 2 )	2	件	44	50	52	50	51	50	102.0		
成果指標 ( 1 )	3										
成果指標 ( 2 )	4										
事業費	5	千円	176,505	116,563	112,975	130,838	121,871	120,374	特記事項		
(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7	千円	117,909	51,037	49,690	54,119	53,560	49,044			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8	人	3.65	4.24	6.07	5.74	4.13	3.54		
	上記以外の職員	9	人	0.00	0.00	0.20	0.50	0.50	1.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10	千円	30,755	32,932	50,386	47,931	33,033	26,506		
	上記以外の職員	11	千円	0	0	616	1,540	1,814	3,628		
総事業費 (5+10+11)	12	千円	207,260	149,495	163,977	180,309	156,718	150,508			
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13	円	290	211	242	259	240	221			
財源	受益者負担分	14	千円	9,127	9,607	9,019	9,983	8,236	9,646		
	国からの補助金等	15	千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18	千円	9,127	9,607	9,019	9,983	8,236	9,646		
	差引：一般財源 (12-18)	19	千円	198,133	139,888	154,958	170,326	148,482	140,862		
受益者負担比率 (14÷12)	20	%	4.4	6.4	5.5	5.5	5.3	6.4			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（ 2 ）

## 令和 2年度 事業実施状況（ D o ）

整理番号 462

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	保守管理委託			
	光熱水費の支出			42,623
	維持管理経費の支出			9,132
	施設等整備			18,669
	その他（ ）			

事業実績

杉並清掃事務所、下井草分室、方南支所については老朽化が進んでおり、各種保守点検に加え、計画的な整備・修繕が必要であり、限られたコストの中で適切な施設管理を行いました。加えて、高円寺車庫においては各種機器等を安全かつ適切に管理するため、計画的な点検・整備を行いました。旧杉並中継所は、災害時の防災拠点としての活用が予定されていることから、維持管理について、庁内関係部署と必要な調整を行いました。

## 令和 2年度 評価と課題（ C h e c k ）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	<p>老朽化が進んでいる杉並清掃事務所、方南支所、旧杉並中継所の各施設において、優先度の高い項目から必要な修繕を行い、適切な維持管理を行うとともに、高円寺車庫も含めた各施設の便所水栓自動水栓化を行う等、新型コロナウイルス感染症対策の必要な対応を行いました。</p> <p>高円寺車庫を除く清掃事務所の各施設は、老朽化に伴う適切な維持管理が引き続き求められることから、定期的な点検と計画的な修繕を行っていきます。</p>

## 令和 4年度の方針（ A c t i o n ）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容		